

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 396 事業名 妊産婦支援事業（妊婦教室）

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		母子衛生費	
	大事業		母子衛生事業	
	事項		妊産婦支援事業	

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	2	健康づくりの推進
取組	3	母子保健対策の推進

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間	永年	～	
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	地域保健課	加藤智康 (433-2261)	
関連課			

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実		
市民の健康環境の充実	○	道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実		
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実		
その他		その他		その他		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か	事業内容				
	妊婦およびその家族が、妊娠・出産・育児について学び、健康で安心して新しい生命の誕生を迎えられることを目指す。	広報「市報わかやま」への掲載や初産婦への個人通知にて周知を図り、2回1クールとして、保健師・栄養士・歯科衛生士が教室を各保健センターで実施する。妊娠中の食生活や歯の衛生、その他日常生活等について、講話やグループワークを通して知識を学ぶ。また、妊婦同士や出産後の母子との交流の場を提供する。				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		第1回目 妊娠・出産・育児についての講話。母子健康手帳、各種制度や保健サービスについての説明。妊婦同士の交流会。	第1回目 妊娠・出産・育児についての講話。母子健康手帳、各種制度や保健サービスについての説明。妊婦同士の交流会。	第1回目 妊娠・出産・育児についての講話。母子健康手帳、各種制度や保健サービスについての説明。妊婦同士の交流会。		
		第2回目 食生活、歯の衛生についての講話。先輩ママとの交流会。 ※初産婦への通知1395人	第2回目 食生活、歯の衛生についての講話。先輩ママとの交流会。 ※初産婦への通知1519人	第2回目 食生活、歯の衛生についての講話。先輩ママとの交流会。 ※初産婦への通知1455人		
		①実施回数 34回 ②延参加者 400人	①実施回数 36回 ②延参加者 446人	①実施回数 46回 ②延参加者 407人		

2 事業コスト

事業費 千円		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	94	88	94	94	113	129	114				
	伸び率 (%)	-	-	0.0%		20.2%		0.9%			-100.0%	
	人件費	常勤職員	3,677	4,009	3,677	7,661	7,661	8,318	7,661			
		非常勤職員	0	0	0	0	0	0	0			
		小計	3,677	4,009	3,677	7,661	7,661	8,318	7,661			
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
その他												
一般財源(税等)	94	88	94	94	113	129	114					
所要人数	常勤職員	0.48	0.52	0.48	1.01	1.01	1.1	1.01				
	非常勤職員	0	0	0	0	0	0	0				

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況					平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	妊婦教室実施回数					年度目標値	36	36	46	46	46
						実績値	36	36	46		
	単位	回	全体目標値	100	全体目標達成度	100.0%	年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%	
							実績値	100.0%	100.0%	100.0%	
	実参加者数					年度目標値	480	480	480	480	480
						実績値	246	268	247		
	単位	人	全体目標値	480	全体目標達成度	51.5%	年度別達成度	51.2%	55.8%	51.5%	
							実績値	51.2%	55.8%	51.5%	
	成果指標	健康管理に役立つ割合					年度目標値	100	100	100	100
					実績値	98.8	100	100			
単位		%	全体目標値	100	全体目標達成度	100.0%	年度別達成度	98.8%	100.0%	100.0%	
							実績値	98.8%	100.0%	100.0%	
不安軽減割合						年度目標値	100	100	100	100	100
						実績値	90.4	92.6	87		
単位		%	全体目標値	100	全体目標達成度	92.6%	年度別達成度	90.4%	92.6%	87.0%	
							実績値	90.4%	92.6%	87.0%	

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載) A
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	<p>教室参加後のアンケート等から、妊娠中の生活についての知識や参加者同士の交流を望む声が多く聞かれた。交流会には、保健師が積極的に介入し、参加者の交流が円滑に進むように努めている。アンケート結果から参加者のニーズに沿った事業展開ができ、2指標とも成果は上がっており、参加者の満足度も高い。</p> <p>各保健センターで妊娠届を受理することにより、妊娠初期からの支援の充実を図る。</p>
「見直し」「改善」案 ※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ	